

令和3年2月5日

新型コロナウイルスワクチンについて

国立病院機構四国がんセンター

現在、報道でもご存じの方も多いかと思いますが、新型コロナウイルス（COVID-19）に対するワクチンの開発が進んでおり、近日中に接種が開始される予定です。

令和3年2月1日時点での、新型コロナウイルスに対するワクチンに関する情報をまとめましたのでご参考にして下さい。

なお、開始時期、接種対象者や申し込み方法等につきましては、随時変更されます。政府や市町村から公表される最新の情報をご確認いただきますようお願いいたします。

I. ワクチンの種類、対象者や接種方法について

1. 新型コロナウイルスのワクチンはどのようなものがありますか？

国内外から数多くのワクチン開発が進められておりますが、現時点では、下記3社のワクチン接種の準備が進められております。

メーカー	ファイザー社	モデルナ社	アストラゼネカ社
開発コード	BNT162b2 mRNA Covid-19 Vaccine	mRNA-1273 SARS- CoV-2 Vaccine	ChAdOx1 nCoV-19 vaccine (AZD1222)
種類	mRNA ワクチン	mRNA ワクチン	アデノウイルス ベクターワクチン
投与方法	筋肉注射	筋肉注射	筋肉注射
投与回数	2回	2回	2回
投与間隔	21日	28日	28日
1回投与量	0.3ml	0.5ml	0.5ml

(注：これらの用法・用量は海外のデータであり、本邦においては異なる可能性があります)

2. ワクチン接種はどなたが対象になりますか？

次のような順でワクチンを受けていただく見込みです。

- (1)医療従事者等
- (2)高齢者（令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方）
- (3)高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方
- (4)それ以外の方

すなわち、

65 歳以上の方は、がんの有無にかかわらず、(2)のタイミングで受けることが可能です。

65 歳未満の方で、現在がん治療を受けられている方は、(3)のタイミングで受けることになります。

がん治療が終了し経過観察だけを行っているなど、現在がん治療を受けられていない 65 歳未満の方の接種時期については未定です。

しかし、下記に該当する基礎疾患を有する方は、(3) のタイミングで受けることが可能となりますのでかかりつけ医にご相談下さい。

~~~~~

(3) の「基礎疾患を有する方」に該当する病気等

1) 以下の病気や状態の方で、通院/入院している方

1. 慢性の呼吸器の病気
2. 慢性の心臓病（高血圧を含む。）
3. 慢性の腎臓病
4. 慢性の肝臓病（ただし、脂肪肝や慢性肝炎を除く。）
5. インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
6. 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
7. 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）
8. ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
9. 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
10. 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
11. 染色体異常
12. 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
13. 睡眠時無呼吸症候群

2) 基準（BMI 30 以上）を満たす肥満の方

\*BMI30 の目安：身長 170cm で体重約 87kg、身長 160cm で体重約 77kg。

~~~~~

なお、ワクチン供給、接種体制等により、上記適応は変更になる可能性があります。市町村から公表される最新の情報もご確認下さい。

3. ワクチン接種はいつ頃から始まりますか？

「2. ワクチン接種の対象となる方」の、(1)の医療従事者等につきましては、令和 3 年 2 月下旬もしくは 3 月頃から開始される見込みです。

(2)の方につきましては、早ければ令和 3 年 4 月頃から開始となる見込みです。

該当する方には、接種時期の前に市町村から「接種券（クーポン）」が届く予定です。
それ以外の方につきましては、現時点では不明です。

4. ワクチンはどこで受けることができますか？

住民票所在地の市町村の指定医療機関や接種会場で接種を受けていただくことになります。

入院・入所中の方や、お住まいが住民票所在地と異なる方については、住所地以外でワクチンを受けていただくことができる見込みですが現時点では詳しい状況は不明です。今後の案内をお待ち下さい。

5. ワクチン接種にはお金が掛かりますか？

無料です。

6. ワクチン接種は必ず受けないとはいけませんか？

ワクチンの接種は強制ではありません。任意です。

受けることによる感染症予防などのメリットと副反応のデメリットをご理解頂いた上で、受けるかどうかは最終的にご本人さん自身でご判断下さい。

II. ワクチンの投与について

7. ワクチンの種類を選ぶことはできますか？効果や副反応に違いがありますか？

ワクチンの接種時期・ワクチン接種会場により、提供されるワクチンが決まっており、ワクチンの種類を患者さん自身が選ぶことはできません。

現時点では、ファイザー社のワクチンから接種が始まる予定です。

ワクチン間での効果や副反応に違いがあるかどうかについてはわかっておりません。

8. 一回目と二回目の投与で同じワクチンを投与するのですか？

原則、1回目と2回目は同じ会社の同じ種類のワクチン接種を受けて頂きます。

9. ワクチンでどの程度の効果が期待されますか？

新型コロナウイルス感染の発症を予防する効果や、重症化を防ぐ効果が示されています。

10. ワクチン接種の副反応として、どのようなものがありますか？

穿刺部の痛み、発赤、腫脹、発熱、悪寒、頭痛、体のだるさ、関節痛、筋肉痛、吐き気や嘔吐といったことが報告されています。その他、非常にまれですが、アナフィラキ

シーと呼ばれる強いアレルギー反応の報告もあります。アナフィラキシーは 10 万人に 1 人程度と報告されています。

11. ワクチンの効果はどの程度続きますか？

ワクチン接種は開始されたばかりであり、どの程度効果が続くのかなどについての詳細は不明です。今後、インフルエンザワクチンの様に毎年受ける必要があるのか、麻疹などのように長期間効果が持続するのかなどについても十分わかっておりません。

12. 新型コロナウイルスのワクチンは、2 回接種が必要ですが、1 回だけの接種では駄目でしょうか？

一定の間隔を開けてから、2 回目の投与を行うことで、新型コロナウイルスに対する免疫をより高めること（ブースター効果）が期待されています。これまでの研究では 2 回投与を行うことで高い予防効果が報告されています。1 回だけの予防効果は不明ですので、必ず 2 回受けて下さい。

13. 2 回目の接種の時期に入院予定で接種が受けられません。

入院中の接種が可能かどうかにつきましては、主治医の先生ともよくご相談下さい。健康な方においては、1 回目の投与から 6 ヶ月経過しても効果が持続する可能性があると言われております。

米国疾病管理予防センター（CDC）では、規定された間隔で投与が困難な場合にも 6 週間以内での投与を許容しております。さらにこれ以上の間隔があく場合にもデータは十分ではないですが、あらためて一回目から接種し直す必要はないと公表しています。

これら推奨された期間が難しい場合でも、接種可能となりましたら、早いタイミングで、2 回目のワクチン接種を行ってください。

14. インフルエンザワクチンを受けました。新型コロナウイルスワクチンの接種はどの程度の間隔を開けて受ければ良いのでしょうか？

インフルエンザウイルスをはじめとしたその他のワクチン接種を受けた場合には、新型コロナウイルスのワクチン接種は 14 日間あけてから接種して下さい。

15. 先日、新型コロナウイルスに感染しました。新型コロナウイルスワクチンを投与してもよいのでしょうか？

新型コロナウイルスに感染したことがあっても、症状が無かったり、軽かったりした場合には、十分な抗体が産生されていない可能性があります。ただ、感染直後の再感染は稀とも言われておりますので、感染してから 90 日以降を目安に受けて下さい。

III. がん患者さん、ご家族へのワクチン接種について

16. 来月、がんの手術を受ける予定です。手術の前に新型コロナウイルスワクチンを受けておいた方が良いでしょうか？

手術直前に新型コロナウイルスに感染し、手術直後に発症した場合には重症化する恐れがあります。

もし接種可能であれば、手術前に接種することをお勧めします。

しかし、ワクチン接種後、発熱や体のだるさなどの副反応が出る可能性がありますので、接種の時期につきましては、主治医の先生とよくご相談下さい。

ただ、ワクチン接種だけではなく、日頃から手指消毒、マスクの着用、3密を避けた生活を送ったり、会食を避けるなど、感染予防対策をしっかりと行って下さい。

17. 三年前にがんの手術を受けました。その後はがんに対し何も治療は受けておりませんが、定期的に通院中です。ワクチン接種の対象になりますでしょうか？

「2. ワクチン接種の対象者」に記載しているように、65歳以上の方はがん治療の有無に関係なく接種の対象となります。

一方、65歳未満で、現在がんに対し治療を行っていない方は、基礎疾患や高度肥満がある方を除いては現時点では接種の対象になりません。

これらの対象者は状況により変更になる可能性がありますので、市町村等からの最新の情報をご確認ください。

18. 現在、抗がん剤治療を受けています。ワクチンを接種した方がよいのでしょうか？

抗がん剤治療中のがん患者さんに対して、新型コロナウイルスワクチンが有効なのかどうか、うまく免疫が獲得されるかどうか、どのタイミングで打つのが良いか、がんの種類によって異なるのかどうかなどのデータはありません。

しかし、米国がん治療学会などでは、がん患者さんに対してもワクチンの成分などに対しアレルギー等がなければ、ワクチン接種を受けることが推奨されています。

がん患者さんに対する新型コロナウイルスワクチンの効果は不明ではありますが、インフルエンザワクチン接種することで、死亡率（死亡される方の割合）や罹患率（インフルエンザに罹る割合）が減少することがこれまで報告されており、新型コロナウイルスワクチンに関しても一定の効果が期待されています。

19. 現在、抗がん剤治療を受けています。いつワクチンを接種するのが良いでしょうか？

抗がん剤治療を開始予定の方は、抗癌剤治療を始める前に投与を行うことが勧められます。

現在、抗がん剤治療中の患者さんにおいて、いつ投与するのが良いのかに関しては十分わかっておりません。

ただ一般的に、免疫細胞に強く影響を与える抗がん剤治療や、強い抗がん剤治療を受けている方は、ワクチン接種後の免疫応答が弱まる可能性があります。

また治療の影響で血小板数が減少しているなどの場合には、血が止まりにくくなり、接種した部位の腫れがひどくなる可能性もあります。

そのため抗がん剤の投与と投与の間にワクチン接種を受けたり、治療終了後からしばらく間隔を開けるなど、ワクチンを受ける時期につきましては、主治医の先生ともよくご相談下さい。

20. 免疫チェックポイント阻害薬での治療を受けています。ワクチン接種を受けても良いでしょうか？

免疫チェックポイント阻害薬治療中の患者さんにおいて、インフルエンザワクチンを接種した場合、ワクチン接種の副反応が増える可能性も懸念されておりましたが、頻度は変わらないといった報告もあり、現時点では一定の見解はありません。

21. がん患者の家族です。ワクチン接種を受けた方がよいでしょうか？

新型コロナウイルスは家庭内での感染が多数報告されております。

がん患者さんは免疫が低下していることも多く、もし感染した場合には重症化や死亡のリスクが高くなるとも報告されております。

そのため、ご家族にがん患者さんがいらっしゃる場合には、手指消毒、マスクの着用、3密の回避をとってもらうとともに、家庭内での感染を減らすため、新型コロナウイルスワクチンの接種をお勧めします。

IV. その他

22. mRNA ワクチンとはどういったものですか？

これまでのワクチンは、ウイルスそのものを培養し、ウイルスの病原性を無くしたり、弱めたりした不活化ワクチンや、弱毒化ワクチンなどが使用されておりました。

mRNA ワクチンは人工的に合成された mRNA から作られた、新しい種類のワクチンです。

人間の体を構成している細胞には、体の設計図である DNA が存在しています。体に必要な様々な種類のタンパク質を作るためには、細胞内において DNA から mRNA に翻訳し、この RNA をもとにアミノ酸が合成されタンパク質が作られます。

新型コロナウイルス mRNA ワクチンは、新型コロナウイルスの表面にあるスパイクタンパク質の一部をコードする mRNA を人工的に合成して作られています。

しかし通常、mRNA はすぐに分解されるため、ワクチン開発にあたっては体内で分解されにくくなるような様々な工夫が行われていたり、超低温下で保管したりする必要があります。

接種された mRNA は体内の細胞に取り込まれ、体内で新型コロナウイルスのスパイクタンパク質が作られることによって免疫を獲得します。

23. アデノウイルスベクターワクチンとはどういったものですか？

アデノウイルスはいわゆる、「風邪」の原因となるウイルスのひとつです。本ワクチンは、新型コロナウイルスのスパイクタンパク質の遺伝子を、人間に対し病原性がないもしくは弱めたアデノウイルスに組み込んで作られたもので、このウイルスを投与することで免疫を獲得します。

24. 新型コロナウイルスの予防接種を受けて重い後遺症が残りました。何か補償を受けることができますか？

新型コロナウイルスワクチンも、予防接種健康被害救済制度の対象となります。

健康被害の内容について審査が行われ、予防接種が原因で健康被害が生じたと認められた場合には、本制度の対象となる可能性があります。

詳細につきましては、厚生労働省のホームページをご覧ください。お住まいの市町村の窓口にご相談下さい。

厚生労働省 予防接種健康被害救済制度

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou20/kenkouhigai_kyusai/

なお新型コロナウイルスに関する情報は、日々更新されております。

政府や市町村から公表される最新の情報もご確認ください。

(関連サイト)

- 1) 厚生労働省 新型コロナウイルスワクチンについて
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html
- 2) 米国疾病管理予防センター (CDC) . COVID-19 vaccine (英語)
<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/vaccines/index.html>
- 3) 米国国立衛生研究所 (NIH) . vaccines(英語)
<https://covid19.nih.gov/treatments-and-vaccines/vaccines>
- 4) 米国がん治療学会 (ASCO) . COVID-19 Vaccine & Patients with Cancer (英語)
<https://www.asco.org/asco-coronavirus-resources/covid-19-patient-care-information/covid-19-vaccine-patients-cancer>
- 5) 米国がん協会 (American Cancer Society) . COVID-19 Vaccines in People with Cancer

(英語)

<https://www.cancer.org/treatment/treatments-and-side-effects/physical-side-effects/low-blood-counts/infections/covid-19-vaccines-in-people-with-cancer.html>

- 6) 欧州がん治療学会 (ESMO) COVID-19 vaccination in cancer patients: ESMO Statement

(英語)

<https://www.esmo.org/covid-19-and-cancer/covid-19-vaccination>